

「まだ鉛木のほんこ作っ  
てないんだよね」。昨年、結  
婚して名字が変わった先輩女  
性記者の何げない一言。そこ  
に舞い込んだ切削ロボット  
によるアルミ製ハンコ製作体  
験の案内状。やりまじょう。  
日頃の感謝の気持ちを含め、  
ほんこ作りにトライした。  
ほんこ作りを体験したの  
は、福島市のポリテクセンタ  
「福島で行われた「職業訓練  
体験」。作業服に身を包んで

### アルミ製ほんこ作り

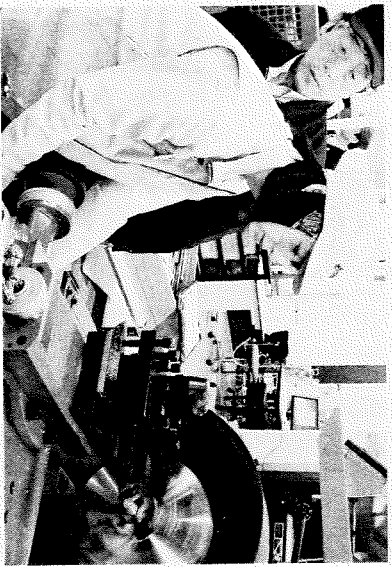
いざトライ。工場での手作業  
を想像していたが、案内され  
たのはパソコン室。同センタ  
「の丹治健所長が「現場の技  
術に合わせた職業訓練も「マ  
キトキ」なんですよ」と説明  
してくれた。  
まずは「CAD」と「CA  
M」というソフトを使い、は  
たの図面とプログラムを作  
る。ソフトが自動で作成して  
くれると聞いて正直簡単そう  
だと思っていたのに、文系記

# 先輩へ感謝のほんこ

## TRY

あなたに代わって記者が挑戦

報道部 丸山詩織記者(23)



「面取り」し、  
旋盤を使って「面取り」し、  
ほんこを仕上げる丸山記者

者には理解不能な単語が主  
々に並ぶ。指示に遅れない  
ようにひたすらクリックする  
だけ、早くも精いっぱい。  
自分が何をしていたのかも分  
ないまま、モニタには立体  
的な「鉛木」が勝手に浮かび  
上がった。これで機械が自動  
で材料を削ってくれらるし  
い。「マキトキ」のソフトに  
も、それを使いこなす人にも  
脱帽だ。  
普段は歪型などを作るのに  
1本。技術の進歩って素晴らしい。疑ってすみません。  
だ。そんなものづくりの精神を  
最後に「旋盤」という手動の  
機械で、持ち手の角を取って  
滑らかにする「面取り」をし  
てくだけいな。

遣いの一時間はその仕事だ。  
こうして銀色に輝く世界に  
一つだけのほんこが無事に完  
成した。自分が作ったもので  
誰かに喜んでほしい、そ  
れがものづくりの醍醐味だと  
知った。そんな思いを丹治所  
長に伝えると、丹治所長は「新  
聞もものづくりですね」  
と一言。そういえば私が新聞  
記者を志したのも「誰かの役  
に立ちたい、喜んでほしい」  
という気持ちが出発点だっ  
た。そんなものづくりの精神を  
最後に「旋盤」という手動の  
機械で、持ち手の角を取って  
滑らかにする「面取り」をし  
てくだけいな。  
(次回は26日。「カーリ  
ン」にトライします)



たい  
よん  
で  
き  
ま  
し  
た  
よ

完成した世界に一つの「鉛木」ほんこ

正式名 福島福島センター  
促進者有職者進  
修取得能力開発  
者向け「福島職  
業訓練」で年間  
約千人が利用す  
る。また、地元  
の実習・研修も  
受け入れられて